

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者様の不穏時に、屋外への飛び出し行為がある為、危険回避の為、グループホームの玄関を常時施錠している。	玄関を常時施錠しないようにする。	飛び出し行為をされる利用者様の、不穏・徘徊時のスタッフの見守り体制を見直し、玄関を常時施錠しなくても良い様にする。	3ヶ月
2	6	弄便行為が頻回で、感染症防止の為、つなぎ服を家族様と相談の上、着用させて頂いている利用者様がいます。	つなぎ服の常時着用を止める。	スタッフが多い日中の時間帯に、つなぎ服から通常の衣服へ変更し、見守りする。	1ヶ月
3	35	利用者様と地域住民の方の参加する避難誘導訓練が実施出来ていない。	利用者様と地域住民の方の避難誘導訓練への参加。	つつじが丘にある他法人の事業者様に協力を呼び掛け、合同で避難誘導訓練を行う事で、利用者様と地域住民の方に訓練への参加を促す。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。